

司法 アクセス学会

第6回学術大会

司法アクセスの問題は従来、法的援助を必要とする人々をどのようなルートで司法サービス提供者に導くか、という形で論じられてきた。しかし今日問われているのは、司法サービスのあるべき姿そのものであり、はたして司法サービスは人々に生活上の支援と充足とを実質的・実効的に提供することができるのか、である。そこでは司法制度の運営に関わる機関、とりわけ法的サービスの提供者である弁護士・司法書士が、公的制度としての総合法律支援に関わるあり方や、「総合法律支援」として提供すべきサービスの内容が問い直されてくる。

第6回目の学術大会を迎えるにあたり、司法アクセスのサプライ・セクターが求められている課題を見直し、改善の方向を検討したい。

スケジュール (敬称略)

テーマⅠ：総合法律支援の到達点と、 残された課題

◇「総合法律支援の制度的課題」
一橋大学教授 山本和彦氏

◇「総合法律支援の6年
―法テラスの直面する課題―」
日本司法支援センター理事・弁護士
大川真郎氏

参加申込み受付
お問い合わせ先

司法アクセス学会事務局

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町1614番地 桐蔭横浜大学法学部気付 小林学研究室
TEL・FAX: 045-974-5012 E-mail: manabu@cc.toin.ac.jp

テーマ

司法アクセス・ パラダイムの転換 ―求められる法的サービスへ

日時 2012年12月8日(土)
午後1時～5時30分

場所 弁護士会館2階 講堂クレオ
千代田区霞が関1-1-3



- 地下鉄丸の内線、日比谷線「霞が関」駅 (B1-b出口) 直通
- 地下鉄千代田線「霞が関」駅 (C-1出口) 徒歩2分
- 地下鉄有楽町線「桜田門」駅 (5番出口) 徒歩5分
- JR「有楽町」駅 徒歩10分

テーマⅡ：パブリック・リーガルサービスの 今後を探る

◇「離島・地域のニーズと司法アクセス」
神戸大学教授 樫村志郎氏

◇「地域コミュニティの再建における法律専門家の役割
―東日本大震災の被災地調査から―」
弘前大学准教授 飯考行氏

◇「スタッフ弁護士モデルの再編と新たな任務」
弁護士 池永知樹氏

◇「パブリック・リーガルサービスの担い手
―行政訴訟を中心に―」
神戸大学教授 馬場健一氏

司法

第6回学術大会

アクセス学会

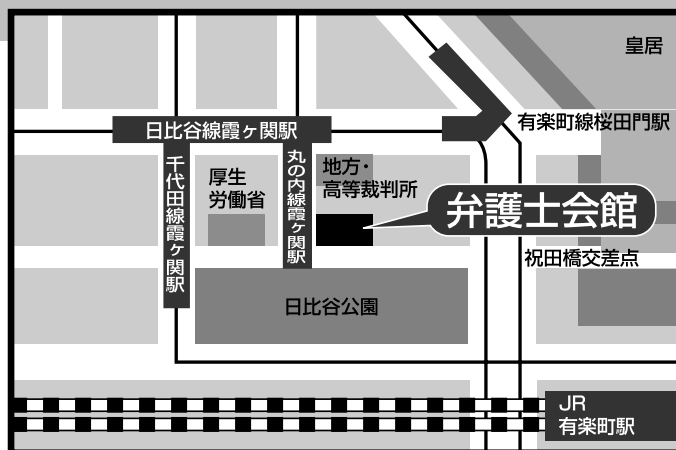
第6回学術大会 テーマ

司法アクセス・パラダイムの転換 ー求められる法的サービスへ

会場案内

弁護士会館2階 講堂「クレオ」
千代田区霞が関1-1-3

- 地下鉄丸の内線、日比谷線「霞ヶ関」駅
(B1-b出口) 直通
- 地下鉄千代田線「霞ヶ関」駅
(C-1出口) 徒歩2分
- 地下鉄有楽町線「桜田門」駅
(5番出口) 徒歩5分
- JR「有楽町」駅 徒歩10分



お問い合わせ・参加申し込み先

司法アクセス学会事務局

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町1614番地 桐蔭横浜大学法学部気付 小林学研究室
TEL・FAX : 045 - 974 - 5012
E-mail : manabu@cc.toin.ac.jp

参加申込書

FAX : 045-974-5012

※切り取らずこのままFAXしてください。

第6回学術大会に 参加します

〔お名前〕

〔ご所属〕

〔ご連絡先〕 TEL :

e-mail :